



菊川市議会だより

議会のひろば

2021.3.4 臨時号

新しい菊川市議会議員が 決まりました

新議会構成決定！……………	P01
私の抱負……………	P03
会派の紹介……………	P07

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



新たな議会構成が決定！

2月3日に2月臨時会が開催され、新しい議会構成が決まりましたので紹介します。



議長
松本正幸



副議長
山下 修

常任委員会

総務建設委員会

●所管事項

総務部、危機管理部、企画財政部、建設経済部、生活環境部（下水道課および水道課の所管事項）、消防本部（消防署含む）、会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項



委員長
赤堀 博



副委員長
小林博文



渡辺 修



渥美嘉樹



織部ひとみ



横山陽仁



織部光男



西下敦基



松本正幸

教育福祉委員会

●所管事項

生活環境部（下水道課および水道課の所管事項を除く）、健康福祉部、こども未来部、教育委員会、市立総合病院



委員長
倉部光世



副委員長
横山隆一



東 和子



須藤有紀



坪井仲治



鈴木直博



山下 修



内田 隆

議会運営委員会

委員長	内田 隆
副委員長	西下 敦基
委員	渥美 嘉樹
委員	横山 陽仁
委員	赤堀 博
委員	倉部 光世
委員	横山 隆一

用語解説

○委員会

議会で取り扱う問題は多く、内容も幅広い分野にわたるため、これらをいくつかの部門に分けて、専門的、能率的に審査・調査する委員会を設けています。委員会には、常任委員会、議会運営委員会と必要に応じて設置される特別委員会があります。

○会派

政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成する政策集団のことです。

○一部事務組合

複数の市町等が、単独では対応できない、あるいは広域で行った方が効率的な事務を共同で行うため設立された特別行政組織です。

会派構成

届出順

市民ネット

代表者 倉部 光世
所属議員 西下 敦基

みどり21

代表者 内田 隆
所属議員 東 和子
渡辺 修
渥美 嘉樹
坪井 仲治
織部 ひとみ
小林 博文
横山 陽仁
赤堀 博
鈴木 直博
山下 修
松本 正幸

会派に所属しない議員

須藤 有紀
織部 光男
横山 隆一

一部事務組合議会議員

牧之原市菊川市学校組合議会

●構成市 牧之原市・菊川市
●選出議員 渥美 嘉樹・赤堀 博・内田 隆

東遠地区聖苑組合議会

●構成市 掛川市・菊川市
●選出議員 東 和子・横山 陽仁・西下 敦基・倉部 光世・松本 正幸

東遠学園組合議会

●構成市町 掛川市・御前崎市・菊川市・森町
●選出議員 須藤 有紀・松本 正幸

東遠広域施設組合議会

●構成市 御前崎市・菊川市・掛川市・牧之原市
●選出議員 渡辺 修・坪井 仲治・織部 光男・鈴木 直博

小笠老人ホーム施設組合議会

●構成市 掛川市・菊川市・御前崎市
●選出議員 小林 博文・横山 隆一

掛川市・菊川市衛生施設組合議会

●構成市 掛川市・菊川市
●選出議員 横山 陽仁・倉部 光世・山下 修・内田 隆

中東遠看護専門学校組合議会

●構成市町 磐田市・掛川市・袋井市・御前崎市・菊川市・森町
●選出議員 織部ひとみ・西下 敦基・山下 修

東遠工業用水道企業団議会

●構成市 掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市
●選出議員 赤堀 博・松本 正幸



ひがし かず こ
【東 和子】

コロナ禍、新たな菊川市を見据えて

厳しい感染症対策をしながら、市民の皆様の数多くの声を丁寧に聴かせていただきました。その中で、菊川市が新たなステージに入ったことを実感しました。

- 一、地場産業の活性化
- 一、水害に強い地域への転換（ゲリラ豪雨対策等）
- 一、子どもや高齢者が安心して生活できる環境づくり

このようなことを女性ならではの視点を生かすと共に教育、福祉の現場で長い期間働いてきた経験を元にキメ細かく対応し、解決に導く覚悟をいたしました。そして、これから市民の皆様の声をお聴かせいただき、市政、行政に反映できるよう頑張っていく予定です。



すとう ゆき
【須藤 有紀】

誇りある街づくり

「このまちに生まれ、住んでよかった」と、しみじみと思って頂けるようなまちづくりをしたい。それが、私の理想です。そのために、取り組みたいことが大きく三点あります。

まず農業振興について。子どもたちに農業・茶業教育等に親しんでもらうと同時に、市の外へもPRし、消費拡大、販売促進を目指します。

次に土木の強化について。河川の氾濫対策や危険箇所の修繕、舗装など、必要なことはたくさんあります。地域のお声をお聞きしながら、さらに住みやすいまちを目指します。

最後に企業誘致や子育て支援について。若者の声を聞きながら雇用拡大と教育の充実を図り、若者が戻ってきたいまちを目指します。

皆様のお声を大切に、全力で頑張ります。ご指導ご支援の程、宜しくお願い致します。



わたなべ おさむ
【渡辺 修】

人を育て守る街へ

菊川の未来は菊川を担う人材をいかに育てられるかにかかっています。教育現場を全面的に支援し、業務と時間に追われ四苦八苦している先生方に本来の能力を発揮していただき、菊川の将来を担う人材を育てていただく。そして、育てたら守る。近年の気象災害は過去のレベルを遙かに上回り、日本列島に襲いかかっています。河川改修ほか、確実堅固な災害対策を進めなければなりません。人材を健全に育て安全な街作りで守っていく、これこそが明るい菊川の未来の道標です。

そしてなんとと言っても、深蒸し茶発祥の地 菊川復興です。茶農家減少に合わせた今までは視点の違う茶業振興施策と荒廃農地対策を打たねばなりません。荒廃を再生するのはなく、先回りした荒廃対策を。



あつみ よしき
【渥美 嘉樹】

一つ一つ、変えていく!!

少子高齢化によって、予算・人手が減っていく中、依然として課題は複雑化・多様化しております。その中で必要なことは、現状維持ではなく、変えるべき所を一つ一つ変えていく「改善の政治」です。以下三つの方法で「改善の政治」の実現を目指します。

【市政の見える化】
機関誌・ホームページ・SNS等によって、まずは「市政の見える化」を進めます。

【市民の声を広く募集】

「改善」のためには、どんな課題があるのか把握する必要があります。

「現場第一」で一人一人の声を真摯に聴いて参ります。

【建設的かつ提案型の議会活動】

市民の代弁者として、実現可能な「改善」を、議会にて強く訴えて参ります。



坪井 俊治

安心で笑顔あふれるまちづくり

活気あるまちには笑顔が溢れています。活気を創出するためには、地域経済の発展、安心・安全に暮らせる環境、子供達がしっかりと勉強ができる環境、女性が子育てをしやすい環境等の色々な要素があります。私はこれらについて、一つずつ丁寧に対応をしてゆきたいと考えております。これを実現するために、①災害に強い地域づくり（市民の生命・財産を守る施策の立案）、②福祉の充実（健康寿命を延ばし介護予防を図る）、③男女共同参画の推進（女性の活躍の積極的な推進）、④農業振興（農産物の販路拡大による販売促進）を重点的に進めて参ります。そして、施策を確実に実行するために、市民の皆様のご意見を広く伺い、地に足をつけてしっかりと行っていきたいと考えております。



織部ひとみ

市民の命と生活を守る

市民生活を揺るがす新型コロナウイルスという未曾有の危機に直面する今こそ、市民が抱く不安を希望に変えていく時である。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が受けられる体制の整備を支援して参ります。

温暖化により毎年起こる災害に多くの声をいただき、市民の命を守る為の治水対策の前進、防災・減災を強化し安心した生活ができる街づくりに取り組んで参ります。

人口減少のなか緑豊かな環境の菊川市に住みたいと思われる子育て世代への支援をして参ります。

高齢者が安心して暮らせる医療体制の充実に取り組んで参ります。

温暖な地域である菊川市は一年を通して農業が盛んです。農業促進の為、担い手を支援して参ります。

一人の声を大切に、市民の代表として市政に取り組んで参ります。



小林 博文

新しい時代への挑戦

新型コロナウイルス感染症は拡大を続け、人類の生活様式を一変させました。この影響は市内の飲食店や観光などの産業はもとより、各企業における業績の悪化も懸念されます。しかし今般、ワクチン接種の具体的な方法も示され、コロナ禍からの復興に向け進み始めています。今後は疲弊している業界への絶え間ない支援と併せて、市内の経済活性化にも対応が急がれます。その一つ、企業誘致や定住促進の起爆剤として、菊川駅の橋上化、南北自由通路開設が必要不可欠です。また、人口減少問題、特に生産年齢人口の減少に対応すべくICTを活用したデジタル化の推進にも備えが必要です。今や時代は加速度的に進歩しています。長谷川新市長の下、「新しい時代への挑戦」が始まります。



横山 陽仁

二期目に当たって

今回の二期目に挑戦した議員の評価は厳しいものでした。市民の方の評価であり、しっかりと受け止めたと思います。

二期目の約束として、先ずやらなければならぬことは、茶業と茶業をはじめとする菊川の農業の変革。持続可能な形に持ってゆくためには、何が要素として必要になるか、そのためには現状分析が必要です。今まで断片的に聞いたり、見たりしてきましたが、ここで腰を落着けて要因を分析し、しっかりと提案をして行きたいと考えます。

やはり議員は提案型でないといけないと思っています。今までの自分の経験を行政に惜しみなく提供して目標とする菊川市の発展に少しでも寄与できればと考えています。



おりべ みつお
【織部 光男】

私の四年間の目標

(1)厳格な二元代表制の確立。(2)開かれた議会の実現。(3)財政健全化の推進。(4)費用対効果と持続可能を第一に考える議決権の行使。(1)について。私の前期中にあった執行部の議会軽視の再発を許さない議会にする。議会は議論の場でないといけない原則がある。その機会を増やして、市民の納得いく議会にしていこう。議会は執行機関に対し毅然とした態度で監視し責任を果たすべきである。(2)について。二年前から提案している「議長候補者は本会議場で市民に公約発表すべきである。」この実現。常任委員会のライブ放映と後日録画放映の実施。議会ホームページの独立と各議員のページの創設。(3)財政健全化には早急な対応が必要である。(4)費用対効果を厳しく精査できる議会を目指して頑張ります。



にしした あつき
【西下 敦基】

笑顔あふれる菊川市のために

10年先も、20年先も、みんなが笑って暮らせる菊川市を目指して、今後も調査・研究を行い、批判ではなく提案型の活動を心掛けて、市民の福祉向上に資するよう精進していきます。

2期目の議員として、今まで学んだことを活かし、4つのまちづくりとして、「活力あるまちづくり」では地域産業の活性化・働く方の環境の整備などを行い、「災害に強いまちづくり」では風水害・大地震への対策を行い、「子育てしやすいまちづくり」「笑顔あふれるまちづくり」を推進し、地域社会でも助け合い、支え合えるような社会を目指していきたいと考えております。少子高齢化した社会・新型コロナウイルス感染症で一変した社会に対応しながら、より良い菊川市になるよう責任をもって尽力して参ります。



あかほり ひろし
【赤堀 博】

さらに住みよい菊川市へ

新型コロナウイルス対策は最重要課題であります。緑豊かな自然環境のなか、さらに住みよい菊川市を目指し、様々な課題に取り組んで参ります。子育て支援、待機児童対策に取り組む、子育て世代が安心して働くことのできる環境づくりに努めます。高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、福祉、介護、生活支援の拡充に努めます。また、農業をはじめとした地域の産業の活性化に取り組めます。安全なまちづくりとして、自然災害に強いまち、共助、公助の連携を図ります。

未来の投資として、JR菊川駅の橋上駅舎化南北自由通路、駅北開発は、菊川市にとって更なる発展につながるものと信じております。市民の皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



すずき なおひろ
【鈴木 直博】

やりきります！ 未来の主役子どもたちのために！

皆さまの声に耳をかたむけ、言うだけでなく行動を！
わたしの取組み課題

- 安全、安心なまちづくり
災害に強いまち
- 子どもや高齢者が安心して暮らせるまち
- 防犯施設の充実したまち
- 教育福祉の充実
- 一人ひとりの個性を伸ばす教育の推進
- 高齢者の生きがいづくり
- スポーツ振興による活気あるまちづくり
- 産業の振興
- 新規企業の積極的な誘致事業の推進
- 休耕田畑の有効活用によるまちの活性化
- 掛浜線の周辺地域のさらなる発展
- 輸出拡大で茶業振興



くらべ みつよ
【倉部 光世】

みんなとまちと世代をつなぐ

まちづくりは人づくりから。人口減少に向かうこれからは地方の時代となります。時代にあった安心して暮らせる地域をつくり、人の連携、地域間の連携を推進していくことが必要です。ちょうどいいまち菊川市だからこそ、穏やかな日常の生活を大切にしまちづくりを市民の声と力を合わせていくことで実現することができます。その一端を担う議員としては、現場に足を運び、市民の声を実現するための政策提言をしていく議員スタイルを継続していきます。

議会は、二元代表制の一翼を担っているという意識を改めて見直す必要があります。市民の声を吸い上げ、合議の上その声を反映させ、行政運営を刷新していく役割を果たしている議会を目指し、情報公開、市民参加、機能強化の各分野を検証し、議会改革を推進します。



やました おさむ
【山下 修】

住みつづけたいまち菊川市

若者が、子育てしやすいまちづくりは、菊川市の活性化、ひいては持続可能な自治体運営に向けての重要な課題です。少子化対策としての子育て支援施策の充実による、人口の自然増を目指した取り組みや、幅広い雇用機会の創出に向けて企業や工場・事業所を誘致し、移住・定住による社会増を目指すことも積極的に展開することが重要と考えます。一方、高齢化対策として、団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題に対する、地域包括ケア体制の充実が必要で、また、大震災による惨禍を繰り返すことの無いように、各種インフラの強化や住宅の耐震化等による減災対策に取り組めます。これらの施策推進により、安心して暮らせるまち、住みつづけたいまち菊川市の実現を目指します。



うちだ たかし
【内田 隆】

納得できる菊川市

少子高齢化、人口減少、東京一極集中等日本の構造的課題は一向に変わらない中、更なる新型コロナウイルス感染症への対応等大変な時代であります。そうした中においても、末端の自治体として菊川市も市民が納得でき、住み続けてもらえるまちづくりを目指すことが大事であります。菊川市におきましても基幹産業でありました茶業の不振、それに伴う荒廃農地の増加や税の伸び悩み等による財政の硬直化等々多くの課題が山積しております。こうした状況下でありましても話し合いの機会を少しでも多く設け、一人ひとりの市民や地域に不安のない状況を作るということが重要であります。個人や地域があつてこそ「住み良い菊川が実現できる」の信念の下、個人からの情報を大事にし、行政への働き掛けをして行きたいと思います。



よこやま りゅういち
【横山 隆一】

生活弱者の立場に立つて

新型コロナウイルス感染症により、不透明感が広がり生活困窮者が急増しています。日本経済の脆弱さが露呈したと言っても過言ではありません。元より経済優先の政治であり、弱い人の立場に立った市政が求められます。まちづくりの最大の課題である少子高齢化は急速に進み、将来予測を適格に捉えたまちづくりが大切です。安定した財政基盤が何よりも重要であり、ツケを先に延ばすことは出来ません。特に大型建設事業は慎重に対応する必要があります。限られた財源をいかに有効に使うかが問われています。菊川市議会も高い監視能力と市民の皆様から信頼される議会となっていくためには、原則である「二元代表制」をしっかりと堅持し緊張感のある議会としなければなりません。チーム横山」として活動して参ります。

私の抱負



まつもと まさゆき
【松本 正幸】

共生と協働によるまちづくり

新型コロナウイルス感染症による経済対策や人口減少、少子高齢化、気候変動等地域の課題が多様化・高度化する中で、この新しい時代の状況と課題に的確に対応するために、市民が一生涯を通じて安心して暮らせる活力あるまちづくりが求められています。

菊川市の第2次総合計画を基に、確かな未来へ繋がる「共生社会」を形成し、課題への対応にスピード感をもって取り組みます。

共生社会での議会改革は、市民の声を行政の施策に反映させるよう議会の構造や考えを変えていくことや行政が提案する市民サービスに、市民の声をもとに議論を重ね責任を持って判断を行い、必要なサービスを議員みずから提案できる議会を目指し、取り組んで参ります。

会派の紹介

市民ネット

新型コロナウイルス禍、世の中が急速に変化する中、菊川市の行政・財政運営もその変化に対応していかなくてはなりません。私達市民ネットは、その早い変化に対応できる情報収集力と幅広いネットワークを築いて参りました。市民福祉の向上を目指すことはもちろん、持続可能な菊川市を目指し、これからの菊川市を担う働く世代、子育て世代、学生、地域、高齢者、そして一番支援の必要な弱者、様々な声を取り入れ、市民と共にまちの課題を解決する実効性のある政策立案、提案を継続していきます。

議会改革は第2ステージに入ったといわれています。2名の様々な委員会を経験した実績を生かし、市民との対話、議員間での対話を大切にしたい政策サイクルを実現できる開かれた議会の実現に尽力して参ります。



みどり21

会派みどり21は合併時のまちづくりの基本理念である「共に生きる」「自らを拓く」「未来へ歩む」を元に策定された総合計画の将来像「みどりときめきたしかな未来菊川市」の実現を目指す、保守政治の理念を共有する議員12名で構成する会派です。活動としては「政治の基本は市民である」を念頭に情報交換を行い、課題解決のための努力をしております。また、常に求められます議員としての資質や能力向上につきましてはテーマを絞った研修会、勉強会への参加を行うと共に、議会における質疑・質問に対し事前の会議を開催し、自由な意見交換を行うことにより適格な審議や議員個々の能力向上のための努力を重ねております。今後におきましても、現予算とは関係はない部分も含め、市民生活に直結した問題、将来に向けての広域的問題、議会としての課題等について情報の共有化を図り、課題解決のための取り組みをしていきます。

NEW 議会だより編集委員です！

●委員長
西下 敦基

●副委員長
織部ひとみ

●委員
須藤 有紀

渡辺 修

小林 博文

山下 修

